



かしのっ子

令和7年度
学校だより 第8号
都城市立菓子野小学校
令和7年11月 1日
文責：校長 溝口 常彦

★古墳時代へタイムスリップ ～菓子野の王さまはこんな顔だった！？～★

10月23日（木）、都城市教育委員会文化財課の方々を招き、「古墳時代へタイムスリップ！」と題した学習会が開催されました。この学習会では、菓子野校区内で発掘された人骨をもとに復顔された模型が子どもたちに初公開されました。

【遺跡の発見と古代の暮らしに興味津々！】

学習会は、まず古墳時代や菓子野地区の古墳についての説明から始まりました。子どもたちは、古墳時代に関するクイズにも挑戦しました。

「今日紹介する地下式横穴墓、 どうやって見つかったのかな？」

- ①大型トラクターで畑を耕していたら地面に穴があいて見つかった！
- ②大雨が降り、土がぬれたことで地面に穴があいて見つかった！
- ③散歩していた人が、地面に穴があいているのをたまたま発見した！

【いよいよ「菓子野の王さま」とご対面！】

そして、いよいよ復顔模型のお披露目です。青い布が取り払われ、目の前に現れた「菓子野の王さま（古墳人）」の顔に、体育館は大きな歓声と笑顔に包まれました。「うわあ！」「本当に昔の人の顔だ！」「どんな人だったんだろう？」子どもたちは目を輝かせ、驚きと感動の声を上げました。目の前で見る復顔模型は、まるで古墳時代からタイムスリップしてきたかのようなリアルさです。この模型は、地下式横穴墓から出土した、状態の良い人骨をもとに、3Dデータ作成などの工程を経て復元されました。



★3・4年生 俵踊り練習に熱が入る！★

11月2日（日）に開催される『庄内ふるさと祭り』に向け、5月の運動会で発表したこの俵踊り。約4か月のブランクがあったにもかかわらず、子どもたちはそのブランクを全く感じさせない堂々とした踊りを披露しました。練習中、楽しそうな子どもたちの会話が体育館に響きました。「今のところ、もっと手前に俵を引いて」と、お互いの動きを確認し合う声。「いいね。みんなのかけ声が大きくなって、踊りにも自信が出てきた」と、躍動感を楽しんでいる様子。「本番でも思い切って踊りを見せてあげようね！」と、地域の伝統の踊りをしっかりと受け継いでいるかしのっ子の誇らしさを感じさせました。子どもたちが地域の伝統芸能に向き合い、真剣に、そして楽しそうに踊る姿は、見る人に感動を与えます。

★ 11月2日(日)「かしのっ子米」の販売★

5年生が今年JA青年部と地域の方の協力で育てた『かしのっ子米』の販売もあります。

お楽しみにしてください！

たくさんのご参加をお待ちしています。



★9～10月の主な行事★

★ 感染症対策等の事情により、変更等が生じる場合があります。

10/1日(水) 命の大切さを考える日	
1日(水)	くれよん号来校←地区の方も貸出できます
2日(木)	3校合同宿泊学習(5年生)
3日(金)	※御池青少年自然の家
7日(火)	稲刈り(5年生)予定
9日(木)	修学旅行(6年生)
10日(金)	※桜島、知覧特攻平和会館等
13日(月)	スポーツの日(祝日)
18日(土)	庄内地区慰霊祭 6年生代表参加
24日(金)	秋の遠足(1～4年生)
28日(火)	持久走練習開始
22日(水)	脱穀(5年生)予定
30日(木)	合同学習(6年生)
11/4日(火) 命の大切さを考える日	
4日(火)	すこやかアンケート～7日
4日(火)	芋掘り週間 ～7日
5日(水)	シェイクアウト訓練(県民一斉防災)
6日(木)	くれよん号来校←地区の方も貸出できます
7日(金)	児童集会(全校で遊ぼう)
10日(月)	教育相談週間・心のプレゼント運動
19日(水)	庄内地区小中一貫教育研修会
20日(木)	ものづくり体験 5・6年
25日(月)	みやざき小中学習状況調査：4年
26日(水)	読み聞かせボランティア
28日(金)	参観日(3～4校時)
	いのちの教育授業(3・4年生)

10月

11月

10～11月 菓子野小学校ホームページより

毎日、かしのっ子の学習や生活の様子を菓子野小ホームページに掲載しています。スマホのカメラ機能からQRコードを読み取り、子どもたちの活動をご覧ください。

★菓子野小学校HPアドレス★ → <https://cms.miyazaki-c.ed.jp/1315/>

【菓子野小HP】



10月3日(金) 最高の思い出を作るぞ！5年生が集団宿泊学習へ出発！

代表児童があいさつを行いました。代表児童は、この日をどれだけ楽しみにしていたかを、はつらつとした声で発表してくれました。「待ちに待った宿泊学習が、いよいよ始まります！特にカレー作りとキャンプファイヤーが楽しみです！事前交流会で会った3校の友達と、追跡ハイキングなどの活動を通して、もっともっと仲良くなりたいです！」期待でいっぱいの表情が、その言葉からあふれていました。「最高の思い出を作ってくるぞ！」という強い意気込みが、聞いている私たちにも伝わってきました。



10月16日(木) 平和への誓い～知覧特攻平和会館での修学旅行2日目～

10月10日(金)、ホテルから望む桜島と朝日、素晴らしい一日を感じさせるようでした。修学旅行2日目は、鹿児島県の知覧特攻平和会館を訪れ、平和について深く考える貴重な一日となりました。

説明を受けた後、子どもたちは展示資料の見学に移りました。館内に設置された端末を使って、説明中に触れられた兵士の情報を熱心に調べ、展示スペースへ。遺書や写真、遺品などの展示ケースの前では、隊員たちの生きた証を一つ一つ真剣な眼差しで見つめ、当時の状況を深く理解しようと努めていました。この知覧での学びは、ただの歴史学習ではなく、戦争の悲惨さと、平和の尊さを肌で感じる、子どもたちにとってかけがえのない時間となりました。「戦争を二度と繰り返してはいけない」という平和への強い思いを胸に刻んだ一日となったことでしょう。



10月27日(月) ～3・4年生 動物愛護センターでの「いのちの授業」と見学～

「聴診器で自分の心臓の音を聞いてみよう」という先生の声に、子どもたちはドキドキ。耳に聴診器を当て、心臓の音を聞いた瞬間、驚きの声が上がりました。「わあ。ドクン、ドクンって、すごい音が聞こえる！」

「これが『生きている』ってことなんだね。」自分の心音を聞くことで、誰もが「いのちの営み」を実感しました。また、「人間も動物」という視点から、動物たちも同じように心臓が動いている大切な命であること、そして「いじめは他人の命を削っている」という命を尊重する行動の重要性を学びました。

モデル犬「モカちゃん」との交流：「モカちゃん、本当に優しいね。みんなが触っても吠えたり怒ったりしないよ。」「モデル犬ってすごい。私たちも優しく、大事に触ろう。」モカちゃんは、人間がどのように接しても穏やかな姿を見せてくれ、動物と心を通わせる喜びを教えてくださいました。

